

中部普及だより



大阪市、守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市

中部地域で定着 『大阪エコ農産物』

●中部地域で広がるエコ栽培

大阪エコ農産物は平成 13 年度に発足し、本年度で 16 年を経過しました。中部のエコ農産物の申請件数は、平成 29 年 1 月申請では 1169 件、7 月申請では 908 件あり、府内全体の約 45%を占めるほど広がり定着が進んでいます。



●エコ栽培への取組

管内各農協では、このエコ栽培された農作物を利用した様々な取組みが進められています。

JA グリーン大阪農産物直売所フレッシュ・クラブのある東大阪市では、「ファームマイレージ²」と銘打って生産されたエコ農作物を購入してエコラベルを集めると、野菜や感謝状の贈呈を受けるといった都市農地の維持確保運動に取り組まれています。



枚方市を中心とした JA 北河内では、集団申請で景観形成と安全安心を組み合わせたエコれんげ米生産の推進と、その米を利用したパックごはんや無洗米など新商品開発が進められています。

▲JAグリーン大阪の直売所とファーム・マイレージ²



▲エコ農産物の現地調査

大東市では、エコ栽培されたお米を JA 大阪東部を通じて、学校給食用として出荷されています。JA 大阪中河内管内では、直売所畑のつづきでのエコ農産物販売やエコみかんを学校給食で利用する取組が行われています。



▲エコ協議会とエコ申請受付

●新しくなったエコ制度と今後

認証マークが新しくなったほか、大阪版簡易 GAP のチェックシート

の提出が必須となり、エコ農産物の

生産者が生産現場での調査でも安全・安心に向けた取組への意識がより高まったものと思います。エコ農産物の栽培が定着することで、エコ申請していない農業者でも化学農薬や化学肥料の使用回数や使用量を減らそうという意識のさらなる広がりが期待されます。

新規就農者 登場！

No.6 阿部亜紀さん（枚方市）

阿部さん（写真右）は、経理関係の仕事で多忙を極めていた折、畑で採れたての野菜は美味しい！と再認識したことをきっかけに、自分でも野菜を作りたいと思いました。体験農園で農業にふれたことをきっかけに、仕事としての農業を真剣に考えるようになりました。そのような折、プロ農家から本格的に農業技術の指導を受ける「都市農業ひらかた道場」のことを知り、覚悟を決めて退職し、「道場」の門をたたきました。平成26年から2年間「道場」で研修を受け、平成28年4月に枚方市穂谷で約30aの農地を借りて就農しました。



現在は、約40aまで面積を拡大し、夏から秋にかけて、ミニトマト、スイートコーン、黒えだまめなど、秋から冬にかけて、だいこんやにんじん、キャベツ、カリフラワーなど多くの品目を栽培しています。

ミニトマトや実えんどうでは、一般的な品種ではなく、地元の農家から譲り受けた在来のものを栽培するなど、自分ならではの特色を出し、旬、彩りを意識した付加価値の高い野菜、採れたてのおいしさを消費者に伝えていきたいといった思いをもっています。

阿部さんは、枚方市穂谷の朝市・直売所その他、「きたかわち新鮮舎」*の一員として、枚方市駅前の商業施設「T-SITE」内の青果店への出荷や通販も行っており、今後販路を拡大していく予定です。阿部さんは、夢のある農業の実現に向け、今後も様々な取組にチャレンジしていきます！

*枚方市を中心に5名の新規就農者が、関係機関の協力のもと設立した農業者組織
（普及だより H29,1 発行第83号で紹介）



ご存知ですか！？～難波葱(なんばねぎ)～



大阪市が原産地の難波葱(なんばねぎ)が、昨年3月末、新たに「なにわの伝統野菜」に認定されました。難波葱は、柔らかく傷みやすいため出荷や料理に気を使うのが難点ですが、九条ねぎに比べて柔らかく、又メリが多く甘みが強いのが特徴です。

なにわの伝統野菜の生産者で組織されている大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会では、生産者が協力して難波葱の種子増殖に取り組んでいます。

今年1月下旬には、大阪府が主催の難波葱フェスタも開催され、大阪市なにわの伝統野菜生産者協議会も参加して、販売店・料理店等と協力して、難波葱の魅力を広くPRしました。



▲大阪市内で栽培されている難波葱

大阪府中部農と緑の総合事務所 〒581-0005 八尾市荘内町 2-1-36 中河内府民センタービル内

TEL 072(994)1515 FAX 072(991)8281

ホームページ(PC・スマートフォン対応) <http://www.pref.osaka.lg.jp/chubunm/> (右QRコード)

この印刷物は2800部作成し、一部あたりの単価は8.42円です。

